

WHO ファクトシート

結核

Tuberculosis

2018年1月

重要な事実

- ・結核(TB)は、世界の死亡原因トップ10の一つである。
- ・2016年には、1040万人が結核に罹患し、170万人(HIV感染者40万人を含む)が結核で死亡している。結核による死亡の95%は、低・中所得国で起きている。
- ・最多のインドに続くインドネシア、中国、フィリピン、パキスタン、ナイジェリア及び南アフリカの7カ国で全体の64%を占めている。
- ・2016年には、推計100万人の子どもたちが結核に罹り、25万人の子どもたち(結核とともにHIVに感染している子どもたちを含む)が結核で死亡している。
- ・HIV陽性の人々にとって結核は最大の死亡原因である。2016年には、HIVによる死亡者数の40%は結核で死亡している。
- ・多剤耐性結核(MDR-TB)は引き続き公衆衛生上の危機であるとともに健康安全保障上の脅威である。WHOが推計しているところでは、リファンピシン(最も効果的な第一選択薬である)への耐性を持つ60万の新症例があり、そのうち49万症例はMDR-TBである。世界的には、結核発症数は年間2%低下している。結核撲滅戦略の2020年指標を達成するためには年間4~5%の低減まで加速する必要がある。
- ・2000年から2016年の間に、結核の診断と治療により、推計5300万人の命が救われた。
- ・2030年までに結核の流行を終息させることは、持続可能な開発目標SDGの健康目標のひとつである。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Tuberculosis ファクトシート原文は [こちら](#)